

官考、  
手紙、

今新 忍 忍

けり案致に... 却て致さる其の先程と辱  
 のこととせりてし、其の及計は存北側より見  
 りては付手書より職工のたぬは概之を在を積  
 立に望むかある、珍理家と呈すこととせり  
 概之與端を算る中、  
 了りては職工の概りたる戦術は  
 手紙行別、撫定存、行書、海小坂、  
 登山、津北治、七三概布  
 軍りては行書と致す、行書も又致すを  
 の策致し、了りに計す、今北側も  
 工場閉鎖、尾端職工減首、  
 軍りてはせり忍致は、尾端七三も古りたる

後 忍 忍

反間其肉の策も控りて、もあやめし。  
 忍致の概りは、撫定存に計し、行中、後  
 の概り、か、時、行中、行中、行中、行中、  
 在命下り、主要人物に尾行を計し、概り、  
 一一般民衆の概り、一不齊中、不齊中、不齊中、  
 乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸、  
 古、月、下、の、知、調、停、在、理、り、又、理、り、  
 了りてし。